

# 地域・関係機関における 連携体制について

---

# 地域で支援体制の構築を図る。

---

地域で支援体制の構築が進まないことから、実際に市町村と協力し支援体制の構築を図り、モデルケースとして、各地域へ提案する。

## 1 モデル市町村1か所選定。

- (1) 医療的ケア児がいる市町村
- (2) 医療的ケア児コーディネーターを設置している市町村
- (3) 支援体制を構築できていない市町村

## 2 支援内容

- (1) 協議の場の設置
- (2) 医療的ケア児等の実態把握
- (3) 事例による支援の検討

# 1 協議の場の設置

---

## 1 どのような協議会を設置するか検討

新たな協議会を設置するのか、又は今設置している協議会を活用することにするのか。

・自立支援協議会、子ども・子育て会議、要保護児童対策地域協議会、難病関係協議会など

## 2 構成員の検討

行政職員(障がい・教育・保育)障害福祉サービス事業所、

医療機関、訪問看護ステーション

当事者団体、医療的ケア児コーディネーター

# 2 医療的ケア児等の実態把握

---

## 1 医療的ケア児の人数把握

全数把握の方法を検討(病院、事業所等への調査可否など)

## 2 医療的ケア児の実態調査

(1)医療的ケアの状況

(2)必要なサービス

## 3 地域資源の把握

医療機関、診療所、訪問看護ステーション、障害福祉サービス事業所

# 3 事例による支援検討

---

## 1 事例を設定

実際に地域で支援する必要がある方について、検討していく。

## 2 現在の課題を抽出

## 3 課題解決に向けた支援策の検討

社会資源の開発が必要か、他制度の活用はできないか

## 4 今後のライフステージに合わせた支援計画も検討